

第92回メーデー宣言

私たちは本日、「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義の日本をめざそう」のスローガンを掲げ、働く者の権利を守り、労働環境の改善、市民生活の向上、安心して暮らせる街づくりのため、職場や地域からの闘いを強め、要求実現をめざして、ここに集いました。

労働者の実質賃金は減り続け、年金も引き下げが続いています。一方で、消費税率が10%にされたなかで後期高齢者の医療費負担は1割から2割に引き上げられようとしており、負担は増大しています。さらに、地域格差や教育機会の不平等が顕在化し、社会的格差と貧困が広がっています。今一度、私たちは人間らしい生活を守り、職場環境の改善と雇用の充実をめざして、声を上げる必要があります。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るうなか、医療従事者をはじめ、生活を支える社会基盤の維持のため、多くの仲間が日々全力で立ち向かわれていることに最大限の敬意と感謝を表明します。しかし、医療現場はこれまでの社会保障費削減によって引き起こされた慢性的な人員不足によって疲弊し、コロナ患者を受け入れることで逆に収益悪化となった医療機関では、賃金はカットされ、これ以上働けないと燃え尽き症候群寸前にまで追い込まれているスタッフも少なくありません。また、非正規労働者や女性への特段の支援が必要であることも明らかです。命を守るためにも社会保障の拡充と雇用や収入への影響に対して、確実に素早い公的支援を求めます。

東日本大震災から10年が経過しました。今年2月に福島県沖を震源とする最大震度6強、また、3月に宮城県沖を震源とする最大震度5強の余震があり、新たな困難に直面した被災地もあります。福島第一原発の廃炉に向けた作業では、処理水や燃料デブリの取り出しなど課題が山積したままです。東日本大震災からの復興と原発に依存しない持続可能なエネルギーや社会の実現をめざし、住民本位の復興を支援するとともに、東海第二原発の再稼働に反対します。

貧困や差別が火種となって、世界中で戦争が起きています。私たち国民、労働者は、第二次世界大戦という大きな犠牲を払って獲得した日本国憲法と民主主義を守り、住民の意思を尊重する社会、核兵器のない平和な世界の実現をめざします。国連では今年、核兵器禁止条約が発効しました。しかし、唯一の被爆国である日本はこの条約に参加していません。この条約を速やかに批准するよう政府に求めます。

私たち働くものの団結で、希望のもてる社会を次世代につなぐことを、ここに宣言します。

2021年5月1日